令和６年３月 31 日

認定 NPO 法人外国人看護師・介護福祉士教育支援組織

令和 5（2023）年度の活動について

代表理事　青野淳子

①「タイビン地域における日本語学習者増加プロジェクト」として前年度 3 月に開講した日本語学習は毎週日曜日 2 クラス（午前・午後）開講した。「ひらがなコース」計 9 回（60 分/回）、「カタカナコース」計 9 回（60 分/回）、「コミュニケーションコース」計 18 回（90 分/回）、タイビン医療短期大学で実施した（3 月 19 日～12 月 10 日）。「ひらがな・カタカナコース」はベトナム人講師が面談で、「コミュニケーションコース」は日本人講師が日本からオンラインで授業した。3 コースについて 2 回以上の延べ学習者数は 86 名（7～47 歳）、出席率は高く（出席率 70%以上の学生が 8 割を占めた）、アンケートによれば、出席者の授業に対する満足度もきわめて高かった。それは日本語講師の授業の質が高かったことによると判断され、感謝に堪えない。（**写真右上**：「ひらがな・カタカナコース」皆勤賞受賞者、**写真右下**：「コミュニケーションコース」修了証を持つ学習者たち）

12 月 14 日、日本文化体験イベントとして小林一子先生による見事な「獅子舞」を鑑賞し、獅子に噛んでもらった後、日本の踊りを楽しんだ（参加者 51 名、4～48 歳）（**写真左**）。

タイビン医療短期大学看護科学生を対象に「日本語能力試験受験対策コース」を企画したが、応募者が 1 名しかおらず、開講を断念した。かわりに「夏季特別講座」（5 日間、5 時間）を開講しコミュニケーションを勉強してもらった（**写真右**；森陽子先生と受講した在学生 14 名）。

②令和 5 年 4 月、介護奨学生 2 名（タイビン医療短期大学卒業生）が来日し日本語学校（和歌山）に入学した。③令和 6 年 3 月留学生 2 名（2019 年来日）が第 36 回介護福祉士国家試験に合格した。これにより当法人留学生プログラムにおける介護福祉士国家試験合格者は 14 名となった（不合格者 3 名）。④在留学生 20 名中 15 名（東京 3 名、岐阜 5 名、和歌山 7 名）を訪問して面談し情報を収集した。2 名（2021 年来日、施設勤務）より勤務先変更希望の申し出があり、必要な支援の結果、新しい勤務先を得た。また他の 2 名（2022 年来日、日本語科在学）より令和 6 年 4 月の介護福祉士科進学をとりやめ（当法人留学生プログラムを離脱し）、特定技能実習生に転向しレストランで働きたいとの申し出を受けた。話し合いと説得を試みたが、意思の変更はなかった。初めてのプログラム離脱者である。大変残念である。原因をしっかり分析し今後の活動に活かさねばならない。

［謝辞］　活動は法人会員費や寄付金に加え、公益財団法人森村豊明会、公益財団法人双日国際交流財団および一般財団法人 MRA ハウスからの助成金により実施した。厚くお礼を申し上げる。また、ボランティアで獅子舞を演舞し日本の踊りをご指導くださった小林一子先生、雑務をお手伝いいただいたタイビン医療短期大学看護科学生に心より謝意を表する。